

○健康増進課長（横澤幸子君）

新規のプールの利用計画につきましては、現在、実施している各種の水泳教室、水中運動教室、中学校の水泳授業に加えまして、教室の実施数や定員をふやすなど、利用者の増加が図れるよう計画をしております。25メートルのメインプールが8コース、そして多目的プールがありますので、各種教室の開催と同時に自由遊泳ですとか、水中ウォーキングのコースが多く確保できますし、また多目的プールを活用した水中運動教室や小さなお子さんが参加できる教室の開催など、より多くのメニューが提供できるものと考えております。

メニューの発表、募集につきましては、健康づくりセンターの指定管理者の決定を、ことしの12月に予定しておりますので、その後、指定管理者がメニューの告知や募集を行う予定でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

以上をもって、一般質問を終わります。

○議長（五十嵐健一郎君）

以上で、吉川議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

関連質問なしと認めます。

暫時休憩いたします。

再開を13時といたします。

〈午後0時10分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（五十嵐健一郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、保坂 悟議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

公明党の保坂 悟でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、公用車の管理について。

(1) 公用車の車検切れ運行について。

- ① 法令違反となる車検切れを招いた原因と背景は何か。また、車検が切れて14日間、468キロメートルを運行しているが、その間の車両管理者と運転者のチェックはどうなっていたか。
- ② 法令遵守が基本である市職員としてどのような対策をするか。

(2) 公用車を使用する職員の手続について。

- ① 運転者が使用前に行うチェック項目はどうなっているのか。
- ② 管理者が貸し出す前のチェック項目はどうなっているのか。
- ③ 以前、地域おこし協力隊の自動車を定住促進課内で公用車がわりに使用していたと聞いている。その実態はどうなっているのか。

(3) 公用車の車検管理について。

市の車両係、各課の車両担当者、車検整備会社、保険会社、公用車購入会社による車検の期限に対する管理はどうなっているのか。

(4) 公用車（特殊車両・重機等を含む。）の入札について。

市の入札条件により、会社が結果的に限定されると聞いている。より健全かつ柔軟な入札を目指すべきではないか。

2、副市長の役割について。

(1) 副市長の一人体制にする根拠と目的について。

- ① 駅北復興関連事業はこれから基本構想を立て、全庁で取り組む方針と受けとめている。今後は米田市長みずから陣頭指揮をとる考えか。
- ② 市独自の取り組みを強調するため、久保田産学官推進企画幹を「市長付きプロジェクト特命官」に置く考えがあるのか。

(2) 木村副市長の役割と退任について。

- ① 駅北大火の復興における「一定のめど」とはどのようなものか。
- ② 地元高校のコンソーシアム、子育て支援を核にしたにぎわいの拠点施設、リノベーションの推進など国・県との連携は誰が行うのか。

(3) 藤田副市長の役割と一人体制による負担拡大について。

織田前副市長の辞任は「判断ミス」が理由であった。二人体制の中でミスを犯すほど忙しかったとも推測している。副市長の一人体制では負担が大きくなるばかりである。何か負担軽減策はあるのか。

(4) 織田前副市長による第3セクター役員継続について。

市にメリットがあるのか。また、前副市長が市の株主代表として総会や理事会で発言や意思決定をすることに違和感はないのか。

3、建設工事の施工不良対策について。

賃貸アパート大手である株式会社レオパレス21の物件で、施工不良が見つかりニュースになった。それらの物件は建設後、公的な検査を受けているにもかかわらず、結果的に施工不良であった。また、国内では災害が多発し、災害の復旧・復興工事や東京オリンピックに向けた建設工事などにより、資材や人材が恒常的に不足していると言われている。

そこで、市の建設工事については、完成後に隠れる部分を検証する必要があると考える。特に、入札予定価格と入札価格に大きな開きがあるものや当初予算額から大きく変更になっているものについては、厳しく見る必要がある。具体的には以下の施設を中心に行うべきと考える。

- (1) 大野地区の一般廃棄物最終処分場。
- (2) 須沢地区のごみ処理施設。
- (3) 須沢地区の健康づくりセンター屋内プール。
- (4) 根知診療所。

今後、工事の途中並びに建設後の検証も強化すべきと考えるが、どのように考えているか。

4、糸魚川市の「SDG s (持続可能な開発目標)」の取り組みについて。

(1) 「SDG s」の推進方法について。

- ① SDG sの世界観をカードゲームにした「2030 SDG s」があるが、学校、地域、企業で取り入れる考えはあるか。
- ② 「絵本でSDG s推進協会」との連携を行う考えはあるか。
- ③ SDG s未来都市・自治体SDG s事業や「SDG sアワード」に挑戦する考えはあるか。

(2) 市が既に取り組んでいる事業と「SDG s」の連携について。

- ① 駅北復興まちづくり、匠の里、産学官コンソーシアムによる高校の魅力化などを生かす考えはあるか。
- ② 一般的な観光地との違いを出すために、山林、農地、ジオサイトの環境管理を行うことで陸の豊かさを強調する考えはあるか。
- ③ 地熱や風力発電、電気自動車の普及、間伐材の活用などにより「クリーンエネルギーの仕事」を創出する考えはあるか。
- ④ 海洋高校を核とする高等専門教育と産業振興により「海と水と生命を守るまち」を発信する考えはあるか。

5、駅北まちづくりについて。

(1) 駅北まちづくりを進めるための現状について。

- ① にぎわいづくりのレベル設定（規模）はどうするか。
- ② これまでの各種イベントの目標達成度と今後生かせる材料は何か。
- ③ 統一した雁木をつくる目的は何か。もし、雁木でマルシェをするなら、出店権利と雁木建設協力費をセットにして募集する考えはあるか。
- ④ 糸魚川市を通過する人たちの心理の調査と検証は行っているか。

(2) にぎわい広場（駅北）に人を呼び込む仕組みについて。

- ① 行政主導で日本一の子育て支援事業を展開する考えはあるか。
- ② 漢字や英単語、計算などのレクチャーを受けた高齢者が、子供たちに勉強や遊びを楽しく指導する取り組みを行う考えはあるか。
- ③ 子供や高齢者が駅北に集まりやすいバスの時刻表にすることや、雨や雪でも集まりやすい工夫は考えているか。

(3) 子供や高齢者にとって使い勝手のいい拠点づくりについて。

- ① 空き家を活用したカフェ、学習室、昔遊びの提供の計画はあるか。
- ② 各寺院の境内や敷地を生かす非日常イベントの計画はあるか。
- ③ 東京都港区芝にある「芝の家」のような構想はあるか。

以上で、1回目の質問とします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

初めに、このたびの車検切れの公用車を運行した事案につきまして、深くおわび申し上げます。それでは、保坂議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目につきましては、担当者のみ管理していたことが原因であり、チェックができておりませんでした。

2つ目につきましては、今回の事案を教訓といたしまして、担当課での確認とともに総務課車両係が車検有効期限を把握し、確認することなどの対応を実施してまいります。

2点目の1つ目につきましては、自動車仕業点検表により、ブレーキ等の点検を行うことになっておりました。

2つ目につきましては、用務内容等の確認を行っていましたが、車両の整備状況の確認が明確になっておりませんでしたので、見直しを図ってまいります。

3つ目につきましては、企画定住課の庁用車であり、使用に当たっては、隊員の活動を優先といたしておりますが、あいている場合は、他の職員も有効に活用しております。

3点目につきましては、各課の車両責任者が管理する体制となっておりますが、今後は車両係と二重に確認する体制といたしており、車検整備会社とも連携してまいります。

4点目につきましては、市内産業育成の観点から、基本的に市内事業者を優先といたしており、今後も適正かつ健全な入札に努めてまいります。

2番目の1点目の1つ目につきましては、現在でも私がトップとしての指揮をとっておりますので、木村副市長が退任後も同様に取り組んでまいります。

2つ目につきましては、本年度4月から、市では初めて産学官推進を特命とする企画幹を通して、任用いたしてまいりました。

2点目の1つ目につきましては、大火の復興まちづくり計画が策定でき、それによって現在、被災者の約9割の方が再建を果たされているほか、4月には市営復興住宅への入居も始まっているなど、一定の目安と一定の目途と考えております。

2つ目につきましては、国県との連携は、引き続き、私を中心として関係部署が一体となって要望活動や相談を継続してまいります。

3点目につきましては、各部・課長と一層の情報共有に努めてまいります。

4 点目につきましては、織田前副市長は状況を一番知っておりまして、早急なこの変更は無理といたしましても役員の交代時期などについて、各第三セクターと相談してまいります。現状では、事前に織田前副市長と打ち合わせを行うとともに、総会や取締役会の場には、所管課の職員も出席することといたしております。

3 番目につきましては、工事途中での施工確認は、議員ご質問の工事に限らず、工事段階における確認や必要に応じて中間検査を実施し、品質確保に努めております。今後も徹底してまいりたいと考えております。

また、性能発注方式の廃棄物処理施設につきましては、一定の期間、経過後の性能や機能の品質を確認することになっておりますので、事後検査による検証を一層強化してまいります。

4 番目のSDGs は、持続可能な世界の実現を目指しており、持続可能な開発が推進されることは、産業や経済に貢献し、地域活性化に資するものであります。当市では、既にさまざまな分野で取り組んでいるところでありますが、それを意識して取り組んでいくことが重要と考えており、市内においてもまだ理解が十分に進んでないことから、普及啓発に取り組んでまいります。

5 番目の1 点目の1 つ目につきましては、エリア価値の向上を目指してまいります。

2 つ目につきましては、糸魚川復興マルシェなど各種のイベントが行われており、駅北地域への集客に寄与するとともに、まちづくりにかかわる人材とノウハウが、今後のまちづくりにも生かせるものと期待いたしております。

3 つ目につきましては、雁木は長く受け継がれてきた駅北地域固有の歴史的な財産であり、景観を持続したいため、支援をしてまいりました。現在行われている土曜楽市やマルシェでの活用などは、地域や商店街が主体であり、取り組む活動に支援をして、継続してまいります。

4 つ目につきましては、通過する人の心理調査は行っておりませんが、来訪者を対象に、目的や経路等を伺う、観光動態調査は実施いたしております。

2 点目の1 つ目と2 つ目につきましては、民間主体で子育て支援のニーズも踏まえた活動ができるよう支援をしてまいります。

3 つ目につきましては、近くにバス停がある好条件を生かして、誰もが気楽に立ち寄り、交流ができる場にしてまいります。

3 点目の1 つ目から3 つ目につきましては、まちづくりの主体となる市民を交えて、位置づけや役割、機能について、今後のエリア全体のまちづくり構想を検討する中で考えてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10 番 保坂 悟君登壇〕

○10 番（保坂 悟君）

それでは、2 回目の質問を行いたいと思います。

まず、1 番目の車検切れ運行についてであります。行政の報告では、車両管理者が日常点検で見落としとしていますが、見落としの背景はどうだったのか、日常点検のミスは、職員の意識や自覚の問題なのか、また別の背景があったと検証されているのか、その辺教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

今回の案件は、市長の答弁にもございました車検等の事務を担当者1人にもう任せっきりにしてしましまして、たとえその職員がその事務を失念したとしても、それをチェックしてフォローするといった、いわゆる組織としての基本的な部分というのが機能していなかった、もしくはそういう機能がなかったというところに尽きるかと思えます。日常的なチェックというところも月々の運行記録簿等の書面上でという形式で行ってございましたので、その辺も今後改めていく課題が多い内容だというふうに自覚しております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

この車検切れ状態で、日数と距離があるんですけども、この間の職員の利用というのは、どのような状況になってたのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

車検が切れて、1月23日から2月5日までの間、いわゆる車検切れの間に運転をしていた者が15名、また同乗していた者が10名、いずれも延べ人数でございますが、それらの人数のうち、誰も車検切れに気づかなかったという現状でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

今おっしゃったとおり、事故がなければ、車両事故がなければ車検切れ運行がもっと長く続いていたかもしれないということが、簡単に予測がつかます。一般廃棄物最終処分場の水銀問題も同じくヒューマンエラーだったんですね。二重チェック、三重チェックというのは、これまでのいろんな不祥事を重ねてきた中で、多分ずっとと言われてきたことだと思うんですよ。ましてや、これ法令違反になる出来事でございます。

今、聞けば15人が運転されて、同乗が10人おられたと、もともと気づき得ない仕組みでずっと運営してきたということになるかと思うんですが、その辺の認識はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

庁用車を運転する、庁用車に限らず自動車を運転する前には、仕業点検というものがございます。私どもの市役所にも自動車仕業点検表というのがございまして、ブレーキとかホーンとか、そういうものはチェックをするんですけど、車検証については、車検証の有無という項目があって、燃料カードと同じように、そこにあるねというような確認ぐらいで、その中を開いて日付までという確認はしてなかったということでございます。ですので、今回、不幸なんですけど、事故があったことでこのことに気づけたという状況でした。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

それで、何と申しますかね、1人の方が車両の管理をされていたという、それもちょっと私としては疑問なんですけども、いわゆる人はミスをするものという前提があれば、複数チェックをするのが当たり前であると思います。車検管理は、1人に任せきりって述べられてはいるんですけども、これの、何でそうなったのかという検証とかはされてますでしょうか。

なぜ1人に任せきりになってしまったのかというこの検証はされてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

庁用車は、総務課の車両係が管理する車両と各課が所管する各課管理の車両がございまして。私どもの建設課のほうでは、事故を起こした車を含めて6台を管理しておりまして、それぞれ車両ごとに担当の係が決まっておいて、その担当の係の中に、またその車両の担当というのがあるおいて、そこに任せきりということで、そこを課の中で、全体的にそういう車検ですとかそういうことを管理する仕組みがなかったということでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

そうしますと、各課にある車両がそれぞれの課のやり方の管理というんですか、そういう捉え方でよろしいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

車両管理につきましては、糸魚川市庁用自動車運行管理規定というのがございます。この中で、車両責任者は庁用車の運行管理について、職員を指導、監督、その他必要な事務を処理するというように書いてございます。このあたりが非常に曖昧な表現で、具体的な事項がなかったということで、これが原因の1つに考えられると思っておりますし、この点については改めていくように今、準備を進めているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

今回は、事故で発覚しましたが、今回のことを踏まえて、過去にこういった車検切れがあったとか、そういった事実はありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

今回、2月5日にこの事案が発生しました。その後、全車両の車検の有効期限の確認をしております、この結果ですと、車検切れは現在のところはなかったということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

過去にもなかったかということです。過去にこういう事例があつて、ただ問題が発覚して大きくならなかったということで、内々に処理できたということはあつたかという質問です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

あつたかどうかまで確認をしておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

私、今回、1人の方に任せっきりという言葉が気になっておまして、実は権現荘の経営問題のときに、赤字になった平成26年度の棚卸しを行っていなかったことに対して、当時の金子総務部長に質問したときに、忙しいからという理由で棚卸しをしてなかったというふうに答弁いただいております。最近いろんなミスが職員の中であるんですけども、単純に仕事量というんですかね、任せてある量が非常に多くて、何ていうのか本来考えられないようなミスが起こるような背景があるんじゃないかというふうに疑ってるんですけども、その辺の調査とかチェックとか、その辺はどうなっておりましたか、職員の管理になりますけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

忙しかったかどうかは別にして、法令遵守ができなかったということは、深く反省をしているところであります。現状でいきますと、こういった事案の中で、どうチェックをやるか、忙しい忙しいといってもしっかりチェック機能を果たす効果的なやり方というのがあるかと思っておりますので、そのあたりも含めながら事故の起きないようにしていきたいですし、職員の能力向上、あるいは意識の改革にこれからも努めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

あえて権現荘の忙しかったからというのは、忙しい理由で棚卸しをこれまでしてたのにしてなかったということも当時の部長が言ってるわけですからね。私はそういう体質があるんじゃないかなと、まず1点。

もう一つは、最近のミスについて具体的に言いますと、インフルエンザの警報解除であるとか、ジオパークの検定の採点ミスであるとか、きょうもありましたけど議会事務局の日程の不備だとか、あとガス水道局の徴収の問題だとか、非常に何ていうか公務員として、本来そういうミスはないでしょうというミスが頻発してるんですね。余りにもあるもんですから、皆さんの労働環境がどうなのかなというのが、逆に慢性的な人手不足であったり、今どこの業界も人員を確保できずに困ってるということも聞いております。役所の中でもそういった実態が本当はあるんじゃないかというところを懸念しとるんですが、その辺、仕事量であるとか、負荷をかけ過ぎてるのではないかと、その辺のチェックはどのようにしておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

職員については、合併以降、ほぼ平均して10人ぐらいずつ人を減らしてる状況であります。そ

うした中で、業務がふえてきているということは事実だと思っております。そうした中で、どうそれに対応していくかということで、職員の能力の向上というのも大事でありましょうし、今ご指摘の部分というのも踏まえながら、どうやってほしいか真摯に考えていき、対応してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

ぜひ改めてそういう点検をしていただきたいと思います。

今回の無車検走行というのをちょっと調べました。そうすると今回の無車検走行というのは、罰則点数が6点となり、6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金。また、自賠責保険切れが、罰則点数が6点で、1年以下の懲役または50万円以下の罰金となっております。加えて、車検切れと自賠責未加入の場合は、罰則点数が合計の12点で、90日の免許停止となります。このときの罰金額は、最大で80万となります。

ただし、車検切れに気づかなかった場合や、事故による相手のけがの状況によって、処罰に違いがあるということでもあります。

そこで、今回の車検切れ運行をした職員の処分とか、そういう罰金とかの扱い等については、どのような対応をされるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

今回の件が発覚してから、糸魚川警察署交通課による運転者、あとその事務を担当していた者、その事務を担当していた者の係長、あと私、それぞれ取り調べですとか、運転者に関しては現場検証ということをやっております。今、警察のほうでそのあたりの調査というのを、捜査というんですかね、やっておる最中で、その結論が出てからだというふうに私どもは捉えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

その件は了解しました。また結論が出てからということでもあります。

次、②の法令遵守の対策についてであります。

昨年の市職員の野焼きのときも確認しているんですが、法令遵守は公務員の基本であります。

しかし、野焼きの件からそれほど時間もたっておりません。これまでの注意喚起や法令遵守指導が行き届いてなかったことになるんですが、その辺はどのような捉え方をして、今後、さらに強化した対策が必要になるかと思いますが、どのような取り組みをされるのか、いま一度、確認させていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

今回の車検切れということですが、今回、糸魚川市で起きた、近年数件でありますけれども車検切れで公用車を運転したという事例が他自治体でもございます。そうしたことから、4月と10月に車検切れについて、今、保坂議員言われたような違反とか罰金の話も含めながら職員に伝えたところであったんですが、結果的に伝えたものの、それがしっかり実行できなかったということでもあります。それを鑑みますと、やはりただ言うだけではなくて、それをチェックする体制をきちんと構築していかなければならないということで、今回、各課に任せている車検切れについて、総務課の車両係のほうでもダブルチェックをしていくという体制に今変えて対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

その指導、チェックの中に、私、お願いがあるんですけども、市長とか部・課長の顔色を見て仕事するのではなくて、市民にとって自分の仕事が役立ってるのかとか、今、自分が市民から見てどうなのかという、そういう何ていうのかな、自問自答できるような取り組みをぜひやっていただきたいんですね。どうしても上ばかり見ると、上の評価とかいろいろありますから、そりゃ組織ですからわかるんですよ。わかるんですけど、やはり皆さんは公僕としての役割があるものですから、やっぱり市民から見てどうなんだという部分を強く取り組みの中に入れていただければありがたいんですけど、その辺いかがでしょうか、じゃあ。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

保坂議員言われることは、まずもって第一に我々職員が取り組んでいかなければならないことだと思います。民間でもお客様目線というような言葉がありますが、私どもは市民に立った対応が、まず第一でございますので、そういうことを含めながら、これからの研修の中で生かしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

参考までに、今回、公用車の車検切れの管理について市民の方から大変厳しい声が届いております。

す。一般の方はもちろんなんですが、やっぱり自動車関連会社の方、また、保険関連会社の方からすると、もうあり得ないことだというふうにお言葉をいただいております。通常の業務の怠慢、不手際、過失というレベルではないと。仕事で自動車を運転する者が車検の期限は、最低限確認しておくべきだと。市民のお手本となる市職員が公務で法令違反しているのはあり得ない。車両事故の処理に保険が適応されず、市民の税金で補うことになる。事故で発覚してるので、事故がなければどのぐらい続いていたかわからないなどの、そういう声をいただいております。

本当に議員もそうかもしれません。全体でここは本当に戒めていかなきゃいけないので、そういう声があったということをご紹介させていただきました。

それから、先ほどの最近のミスと連発についてであります。法令遵守している真面目な職員の方には本当に気の毒な今状態かなというふうに思っております。人間ですから、体調不良や家庭の事情、またさまざまな悩みを抱え、時にはそれが原因でミスや事故を起こすこともあると思います。一般廃棄物最終処分場へ混入された水銀のヒューマンエラー、権現荘のずさんな経営管理、相撲クラブのいじめの隠蔽、大火後の野焼きの法令違反、車検切れの法令違反、このほかに犯罪として給食費の横領などもありました。いずれも聞いていると人任せの体質が要因にあると、私は思っているんですね、人任せ、さっき一人体制という言葉ありましたけど。もっと言うと、他人のことには口も手も出さないという体質が蔓延してるんじゃないかと。さらに悪いことは、不祥事が起きたときに真正面から検証を行わないことが、はっきり言って責任の所在を明確にしないことにつながって、何とていうか責任感の曖昧さとか、先送り主義になってしまうんじゃないかという、そういうところをずっと議員としていろんな事態を見てきて思ってるんですね。

私は、ここで何度もしつこくいろんなことを質問させていただきますが、やはり真正面から検証するところが足りないと思うんですけども、今後、市役所としては市の職員の不祥事対策として保身に走らないように工夫するべきだと思いますし、不祥事防止対策年間として、新年度よりは、積極的な公益通報の推進と、また、この1年間、第三者委員会などを立ち上げて、外部監査も入れて、徹底的にそういうところを直していく。そういう決意で臨んでいただきたいんですけども、その辺の考え、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

まさにご指摘のとおりであります。今後ですが、内部監査も充実して、さらに内部統制といったものを見据える中で、どうミスがないか。そして、職員一人一人が責任を持った仕事を市民に対して役に立つ仕事ができるかといったところを真摯に取り組んでまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

今の回答だと全然だめなんですね。もう零点ですわ。私が今言いたかったのは、公益通報の推進と、第三者委員会、そういったものから見ていただく。外部監査も入れていただく。これを今、強

調してるわけですよ。今、全くゼロ回答ですけど、やる気ないということでもよろしいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

答弁としては、内部統制、内部監査の中には、ご指摘の部分が入るという理解のもと、お話をさせていただいておりましたが、ご指摘のとおりであります。外部監査をどうするか、あるいは公益通報の制度を今現在、ほとんどない状況でありますので、どうやったら公益通報をしっかりとやっていけるかといった点についても工夫を重ねてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

非常に弱いと思います。市長、どうですか、これだけミスが頻発してたら、ちょっと新年度は本気になって取り組まなきゃいけないんじゃないですか。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

確かに列挙をすると、そういう形になるわけでありまして。我々は今、内部でも今の原因ははっきり明確になっておるわけでありまして。そういったところをしっかりとやりながら、今ご指摘の点についてもどのような形でそういった対応を防いでいけるか、またそれを防げるかというところを、もう一度検討させていただいた中でお答えさせていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

検討していただくということなので、それを信じたいと思います。ぜひ第三者委員会、外部監査の導入をお願いいたします。

次に、公用車の使用手続についてであります。

特に地域おこし協力隊の自動車について、今ほど職員並びにその隊員が、隊員優先で使うということであるんですが、今回この公用車の件で市民の方と話していく中で教えていただいた内容でございます。その中で、一昨年のお話になるのかと思いますが、地域おこし協力隊の自動車の使い方に関心があると伺いました。お聞きした話によると、地域おこし協力隊の方が、朝、登庁すると怪文書がデスクにあたりとか、職場で無視されたりとか、活動に出たくても活動者の専用車が市職員に乗り回されて使えず、活動に出られなかったことがあり、精神的に追い込まれたという内容であ

ります。この隊員は、既にやめられています、やめる直前も体調不良になっていたところ、職場からは何も声もかからなかったようであり、やめられた隊員は、いわゆる市外の方で、定住も考えていたそうであり、繰り返しますが、これあくまでも市民から直接いただいた声であり、

当時の定住促進課になるかと思いますが、その定住促進とかという役割を考えると、全く逆の働きをしていたんじゃないかというふうに変に心配に思うんですが、この辺の実態を把握されていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

地域おこし協力隊は、今、企画定住課のほうで担当しておりますけども、昨年末にちょっとお帰りになったというのは、私は知っております。今現在、隊員がおりますけども、集落支援員と一緒に、朝のミーティングですとか、あと庁用車も日程も全て共有するような形でやっておりますので、議員が言われたようなことが、聞いたことは十分反省しながら、今後そのようなことがないように取り組んでまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

要は、今担当、課長は違うのかもしれませんが、当時のこの様子とか、その内容を把握されているかどうかという質問であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

私が聞いているのは、ご自身の都合で、家庭の都合でお帰りになったというのは聞いているんですけども、具体的な、そのときあったときのご本人から悩みとかそういった状況については、申しわけありませんけど、私はちょっと把握はしていません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

前の課長である斉藤課長はその辺、把握されていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えします。

恐らく私が今の話で想像する隊員については、どうしてそのような受け取り方をされたのか、非常に残念だなという感想は持ちます。というのは、非常に個人的な課題も多く抱えていた隊員だったというふうに、私、記憶しております。そういったものは、担当職員、係長、それから私も含めいろいろと悩みの相談やそういったものは、かなり丁寧にやってきたつもりであります。最終的には、帰ると、ふるさとのほうへ帰るという選択を隊員がされたというふうに記憶しております。その辺は、やはり人間同士のつき合いの中での話であろうかと思いますが、市の担当としては、誠心誠意、一生懸命隊員が残りやすいような環境で活動できるようにということを細心の気配りをして、やってきていたつもりであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

私も市民から、当事者ではなく間接的なお話の伺い方だったんで、確認のとりようがないんですけども、ただちょっと心配なのが、車両に関しては、優先的に隊員が使えるというふうに答弁はあったんですけども、私が聞いた中では、出たいのに職員が使ってて出れなかった。こういう事実は把握されてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

まず、隊員の1日の日程というのは共有しておりますので、また出る前にもあいていれば庁用車を使って、ほかの職員が使ってもいいかという、そういった会話といいますか確認をしながら、隊員が外へ出ないのであいてるよと。そういう確認をとる中で、他の職員が公用車を使っていくということにしております。原則は、隊員に当たっている庁用車ですので、第一義的には隊員が優先的に使うのが原則であります。その業務の1日の中であいてる時間があれば、順次、他の職員も利用はさせていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

その公用車の管理記録簿とか、目的先とか、隊員の活動記録の整合性というのは、調べられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

昨年の活動日数を出すと、年間143日も車が動いているんですけども、そのうち協力隊ではな

く、他の職員が使ったのは76回ということなので、半分ぐらいが協力隊の業務のほかにも他の職員が時間を見て利用してるという状況になっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

そこで、逆に問題なのが、専用車ですよね、隊員の。それは車両配備が問題あるんじゃないですか。その辺いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

企画定住課のほうで、地域おこし協力隊と、あと集落支援員もおりますので、車両とすれば12台持ってるんですね。その中で本当に仕事が、隊員が今あいてたとしても突発的な仕事が入った場合は、例えばですよ、ほかの集落支援員とかの車を融通してくとか、そういうところはあるのかなと思います。

ただ、第一義的には協力隊員の車両ですので、本来はそこを使わなきゃいけないんですけども、突発的な予定が入って、出なければいけない。そのときに車両がないという状況はあるんですけども、そういう場合は、他の庁用車をうまく利用して、活動ができるような環境は整えていっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

要は、そういうご都合主義のことじゃなくて、専用車で今突発で出ていける地域おこし隊の仕事ができるような体制がとれてないんじゃないかということをお心配してるんですよ。そこは大丈夫ですか、配車の関係は大丈夫ですかって聞いてるんです。そこはいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

まず、地域おこし協力隊の仕事が優先的にできるような体制をとらなければいけないですし、やっぱりスケジュールだけではなくて、本人の1日の状況も確認して優先的に、業務がまずできるのが優先ですので、そちらができる環境をやっぱり他の職員もしっかり見て、活動しやすい環境にしていかなきゃいけないと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

平行線になるからやめますけども、要は、きちんとした対応をとってあげないと、みずから言ったじゃない、突発な対応ができないわけですから、そこは考えてくださいねということですよ。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

地域おこし協力隊もデスクワークだけじゃなくて、結構市内で活動しておりますので、そういう突発的な要件というのは、当然入ってきます。柔軟に対応しなきゃいけませんので、その突発的なところにも対応できるように、その運用をよく企画定住課の中で情報の共有をしながら環境をつくるように努めていきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

今回の話を伺いまして、もう当人もいないことですし、今、前の斉藤課長の話も聞いて、食い違いがあるので、それはそれとして、今後、この話が事実かもしれないので、市役所内のパワハラやいじめに発展する問題かというふうに受けとめました。この際、正職員、臨時職員、契約職員になるんですかね、協力隊は。それぞれの立場や価値観を確認する職場環境の改善のためのアンケート調査を行っていただいて、今後、パワハラだとか不祥事につながることを防止していただきたいと思うんですが、その辺の対策を講じるべきと考えるんですが、その辺の考えいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

パワハラにつきましても、きのう研修会等を実施しているところであります。今、ご指摘のように、どう皆さんがお考えかということも聞く必要があろうかと思っておりますので、方法等につきましてもちょっと検討しながら、一般職ですと自己申告書という形でアンケートといいますか、聞いてるわけですが、そういった部分も検討してみたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

検討というよりも、ぜひ働き方改革とか国の流れもありますし、やはりお聞きした内容でいくとやっぱり価値観の違いとか、年代的な背景というか、育った環境とかいろいろ皆さんそれぞれで違

うわけですから、それは私もそうだと思うんですよ。だけどそういったところをやっぱりそれは違うよということをお互いに認識できるような、やっぱりパワハラについての検証をぜひやっていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

次に、今度は公用車の車検管理についてであります。

車両係の管理と、今、課別管理に分けているんですけども、本来この体制のメリットというのは、何だったんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

まず、基本的には市役所で所有している車の台数が、非常に多いということがあります。そうしたことから、本庁の車両係で管理する部分、それから各課に配置する部分といった形で責任、管理体制を分散させる中で管理をしているというところがございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

建設課の場合で考えますと、冬期に、例えば消雪パイプにふぐあいがあったですとか、どこどこで道路が崩れたとか、そういう現場に駆けつけなければいけない。そのときに庁舎全体で車両を管理されていた場合に、1台もあいていないという状況は、逆に市民の安全・安心を管理する立場としては、今のところ各課管理の車両管理を有しとるというメリットはあるんじゃないかというふうに感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

大変よくわかりました。現場に直行するための各課のメリットがあるということでもありますね。

次に、今回、運転者は、車検切れの車に乗っていたわけですし、今度、車両管理者、車検の、いわゆる管理をしてる者、今後はこういった方の連帯責任みたいな考え方というのは、導入されるお考えありますでしょうか。要は、単独じゃなくて、その運転者も管理者も両方、連帯責任で見ていくという、そういうルールづくりはされる予定ありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

現行の体制でも各課では運行管理責任者がいて、その次に車両責任者がいて、使用者がいるといった形になっております。それぞれの役割があるんで、課としては一体的な管理体制といった形になってはいるんですが、具体的にその役割が明確でなかったということで、その部分について曖昧な表現をより具体的にあらわすことによって、しっかりと役割分担、責任分担を図ってまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

そういう体制ができておった中での今回の件でありますので、私はもう少し厳し目な対応が必要かなというふうに思っております。

市民の方からのご意見だったんですが、公用車をリース方式にしてはどうかというご意見がありました。管理を外に、アウトソーシングじゃないですけど、管理を任せることができて、皆さんの負担が下がるというんですけども、私個人としては、市でやっぱり地元の自動車会社の車を買って、車検とかも整備してもらいたいという気持ちあるんですが、リースという考え方は、今の市のほうではどのように考えておられるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大沢財政課長。〔財政課長 大沢喜昭君登壇〕

○財政課長（大沢喜昭君）

お答えいたします。

車によっては農林水産省の補助金の制度等があって、リース料であれば補助対象にしますよというような制度もあって、リースで使わせていただいている車両もあります。

ただ、その車を年間といいますか長い期間、かなりな距離を庁用車の場合使いますので、やはり買って使ったほうが経済的なメリットはあるんだろうなというふうに今は感じております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

私もできれば地元の業者さんのことを考えると、市で買って車検整備も出すというのがよろしいかと思っておりますので、今そういう方向で行くというのが確認できました。

次、4番目、公用車の入札についてであります。

地元の車両販売業者の優遇措置として限定するのは理解しておるんですけども、例えばこのメーカー専門店に限定されると、数社に絞られてしまうケースがあるそうであります。具体的に例えば除雪車ですと、名前出していいのかな、コマツとか日立建機とか、あともう一個何やキャタピラーですかね、そういうところで決まっていて、それを入札出たくても地元のところから購入して入札に手を挙げてくださいみたいな、そういう何かルールがあるみたいなんで、でもそうなるとその専

属のメーカーが入札に参加すると、はっきり言ってほかの人は入れませんよね。それ以上、安くするということは多分、在庫が持ってないといけないぐらいの環境なので。そういったところも何かうまく地域にある業者がうまく回るような形をぜひ工夫していただきたいんですけど、その辺、今のが最良で、これ以上、改善することはできないんでしょうか。その辺教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大沢財政課長。〔財政課長 大沢喜昭君登壇〕

○財政課長（大沢喜昭君）

お答えいたします。

除雪車両につきましては、メーカーを限定しておりませんので、いろんなメーカー、どこのメーカーでも機能ということですね、同等品可ということで出しておりますので、どこの業者さんでも一応、入札には参加していただける条件では出しているんですけども、昨今、除雪車両の在庫が少なくて、今年度入札しました除雪機でも納期までに間に合わすことができないということから、1社しか応札がなかったと。私どもも国の補助金を使っておりますので、交付決定をいただいてから6月くらいに発注をするんですが、雪が降る前に納めていただきませんと私どもも困りますので、それまでの納期ということになると在庫を持っている業者さんが応札いただいて、1社であったというケースがことしもありましたけれども、発注する段階では、どこのメーカーでも同等の機能であれば、同等品可として対応しておりますので、この制度で除雪機については行きたいと思っておりますが、特殊車両において、救急車では、余りメーカーがないものですから、そういったものについては1社、1つのメーカーということにならざるを得ないものもあるということをご承知いただければと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

基本的には、今、大沢課長の答弁で行っておるんですが、ただやっぱり除雪の機器においては、非常に問題がございます。保証期間とか、やはり限られた時間の中で稼働するわけでありまして、やはり故障とかいろいろあるわけでありまして、車と違ってメーカーは非常に特徴がございます。そういう中で、なかなか本来はできないのかもしれませんが、やはりそういったなるべく安くて機能のいいメーカーに出していきたいという部分もございますので、その辺はやはりある程度、当然、市内の企業を経由していくわけですが、そういった非常に限られた特殊車両については、ある程度限定するときもございますので、ご理解いただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

わかりました。私も勉強不足であれなんですけど、そういった声があったということでお

いていただきたいと思ひますし。

あと消防ポンプ車、各地域に消防団が使われている、ああいうポンプ車についてもできることであれば、その地域の整備会社であるとか、その地域がそういう車両管理ができるようなところから購入していただきたいんですけど、その辺の消防車両とかのルールというか、そういうのはどのようになつてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大沢財政課長。〔財政課長 大沢喜昭君登壇〕

○財政課長（大沢喜昭君）

お答えいたします。

購入に関しましては、市内業者ということでお願いしているんですけども、車両の整備については、それぞれの地域の業者さんに車検等の管理をお願いしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

ちょっと済みません、順番を変えます。3番の建設工事の施工不良対策についてであります。

一番私が気にかかっているのは、大野地区の一般廃棄物最終処分場のことでございまして、具体的には、当初10億8,000万円の算出根拠について仕様に沿った設計の積算はどのように行われているのかという部分と、またそれは誰が作成しているのかというところをちょっとお伺いしたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

一般廃棄物最終処分場につきましては、まず一般廃棄物最終処分場の基本構想、基本設計というところで規模等を決めさせていただいて、その中である程度の概算で、まず金額を算定いたしました。その後、発注仕様書というものを、入札にかけるための発注仕様書というものをつくりまして、それを各入札参加をできるような事業者のほうへ、まず見積もりをお願いしました。その見積もりを参考に予定価格を決めさせていただいて、入札をしたというような状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

それが妥当な数字とするならば、入札後が8億1,000万円で落札ということになるんですが、この議案が提出されたときも質問させてもらって、安全性とかは大丈夫だというふうに言われるんですが、何ていうんですか逆にこのやっぱり差額がどうしても気になって、やっぱり不安が払拭で

きない。この差額について、どういう工夫がなされたとか、その辺の検証というのができるのかどうか、その辺は確認されてるか教えていただきたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大沢財政課長。〔財政課長 大沢喜昭君登壇〕

○財政課長（大沢喜昭君）

お答えいたします。

応札いただいて金額が出た段階で、1日契約までの時間というものをとりまして、その間に業者さんにお見えいただきました。かなりの金額差がありましたので、どのような工夫をされて、この金額で事業をなされるのかということで、説明を受けまして、これなら大丈夫なんだろうなということで契約をさせていただいたところでございます。それは地盤の改良の関係ですとか、普通のこういう屋根ではなくてドーム型にするとか、さまざまな工夫があつて入札いただいた金額で契約いただいたというところでございます。

また、性能についても性能保証型の発注ということで、工事が終わりました後に2年間の間にその後の検査をやることに契約上なっておりますので、でき上がった後、数年たって、しっかり性能を検査して、品質を確保していきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

今現在、最終処分場の施設のところに水処理施設がございます。こういったところの整合性といいますか、その辺も加味された設計になってるかとは思いますが、その辺の安全性の確認というのは、どのように担保をとっていくのか、その辺教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

今回のものにつきましては、性能発注方式ということで落札者が決定後、契約の議案をお認めいただいた後、正式な契約となり、その後、事業者のほうで現在設計を進めているところでございます。

その設計に当たっては、発注仕様書に書かれた水準を満たしてるかどうかというものについて、施工管理者のほうと市のほうと、それぞれ確認しながら進めているというものでございます。かつ、発注仕様書においては、瑕疵担保責任というものを設けてございます。設計の部分の瑕疵については、10年間ということで、長い期間の瑕疵担保期間を設けて発注してるというような状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

大野地区の一般廃棄物最終処分場に関しましては、何度も言っていますが、ヒューマンエラーによる大損害をこうむった施設でございます。また、地元大野地区ということもありますし、また市民の施設でもあります。後々になって問題が出るようであれば困りますので、さっきの話じゃない、1人に任せるんじゃないで、やっぱり二重、三重のチェックということを複数の目で今後もずっと確認していただきたいと思うんですが、その辺の体制は完璧に構築していただけますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

設計の面では、先ほど申し上げたようなことで、発注者である市と設計施工管理をしているところを含めてダブルチェックというような形で進めてまいりますし、当然のことながら設計に基づいて、今度、施工の部分については、先ほど市長答弁にもありましたように、特に施工後、見えなくなる部分については、その施工の段階段階において施工状況を確認しながら、工事を実施していくというふうな体制をとっていくというようなことで進めてまいりたいというふうに考えております。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

それでは、2番目の副市長の役割についてであります。

市長が駅北の関係は陣頭指揮をとってくださるということでひとつ安心はいたしました。

ただ、国とのパイプ役といいますか、安倍首相も来ていただいて、石井国土交通大臣も来ていただいて、糸魚川こんなに活力ある町になりましたって、やっぱり報告するのが1つの理想かとおっしゃるので、そういった部分の国とのパイプ役については、これも市長が、何ていうかな先陣を切って動くという決意もあるのかと思うんで、その辺の国との連携について教えていただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

発災以来、やはり今までつなげてきたパイプの中で行動させていただいて、今の木村副市長なり、またUR、そういった連携ができたと思っておるわけでありまして、それは消えたわけではございません。木村副市長がお帰りになっても、そういったものはやはり今までどおり、逆においでいただいて、さらにそのきずなが強まったと思っておる部分でもありますし、また、このような大火以降の対応で、いろいろと支援をいただいたわけでございますので、我々も定期的であったり、また

不定期であっても1つの事業が終わるたびに報告をさせていただいております。決して文書だけではなくて、ちゃんと資料を持って説明、お伺いしながら、このような今進み方でございます。このような状況になっておりますというような報告をしながら参っとるわけでございます。非常に我々といたしましてもそういった大火でできたきずなをさらにまた引き続き、まだまだ終わっとるわけではございませんが、そのようにつなげていきたいと思っておりますし、これは私が今トップでおるわけでございますが、全ての関係する課においてもそういった対応ができつつあるわけでございますので、それを使いながらこれからも取り組んでまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

そこで、今後、駅北の拠点づくりにしてもまちづくりにしても、子供とか高齢者とかも含めていろいろ対策とるということで、正直これまで木村副市長と、今度、教育長、教育委員会との連携によって、まちづくりが展開されるかなと思ったんですが、また逆に言うと、久保田産学官推進企画幹も入れて、総合的にまちづくりを考えていくという考えはあるんでしょうか。それとも今までどおりの流れというような捉え方をされてるんでしょうか。その辺、あえてちょっと教育委員会がいろいろ今度、子供の関係で入ってくるとなると、その辺ちょっと見えないんですけども今後どのような取り組みをされるか教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

復興まちづくり計画を策定して、今進めておるわけでありまして、その中でにぎわいの拠点づくり、にぎわいの拠点というのがあるわけでありまして、今その部分についていろいろまた市民会議等を開かせていただいて、進めさせていただいております。

先般、この市民会議の報告をいただきました。その中では、もっとやはり拠点のみならず、町全体の対応も考えながら進めていかなくてはならないというような形であるわけでありまして。我々といたしましても、やはり今回の大火の対応については、市民のみならず、行政もやはり加わった中で、にぎわいづくりをしながら復興に持っていきたいという気持ちで、我々の、行政のやれるものは何だという形で進めてまいっております。その辺の中で今、町全体、そしてその中で子育てとか、また教育の関係をどう進めていくかというのも合わせながら取り組むことにしていかななくてはならないかなと今思っておるわけでございますので、市民会議のご提案をいただいた中で早急に、また新年度でその辺を、構想をまとめていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

私が一番懸念しているのは、やっぱり子供ということで、教育委員会の力が本当に必要になってくるかと思しますので、積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

次に、ちょっと飛びますけども、4番目の織田前副市長の第三セクターの役員との関係であります。本会議初日、松尾議員のほうから、また本日は笠原議員のほうから財政についてかなり心配されている声がありました。私も心配しております。

その上で第三セクターの今後の事業のあり方について、どのように考えていくのかという観点に立ったときに、私たち議会としては織田前副市長といろいろ議論をするような格好になるのでしょうか。その辺ちょっと教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり株の保有数は、やはり糸魚川市が持っておるわけでございますので、糸魚川市の内容として行く部分でございます。

ただ、今急にやめた中で、やはり非常に第三セクターの内容に詳しい織田前副市長をすぐかえるというのは、なかなか少し課題もあるかなということの中で、今、第三セクターと話をさせていただいているわけでございます。それはどういう形で行くのか、定時の株主総会のときにかわるのか、臨時になるのか、そういったところを考えながら進めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

第三セクターの役員ということなんですけども、その今やっていただいている成果が望めるかという部分と、今お隣上越市でも問題になっておりまして、今後この第三セクターのあり方について、織田前副市長がこの出資の減額を求めるなど、痛みを伴う作業を行っていく、そういう考えが残っていただいているのか、その辺考えいかがなもんなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今までの織田前副市長が糸魚川市の代表として出て、いろいろとその中で行動してきたことについては、やはり糸魚川市の考えとして行動していただいております。そのようなことで、今かわられたわけですが、糸魚川市の代表として、またそういった部分については、個人ではなくて、糸魚川市の考え方をしっかりと入れていきたいわけでございますので、またかわられても同じ考え方で進めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

私の言い方とすれば残っていただいたのは、財政の規模を縮小していかなくちやいけないということで出資額を減額するとか、そういう何ていうのかな、非常に大変な中を覚悟を決めてやると、そういう思いで残ってくださったのかなと思って、受けとめているんですが、そういう考え方はいかなもんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

大変失礼しました。先ほども言いましたように織田前副市長のいろいろな考え方もあろうかと思いますが、やはり今、議員ご指摘のようにそういった長期的展望に立ったり、またいろんな考え方の中においては同じ考えでございますので、引き続き、そういう考え方で進めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

いずれにしても第三セクターを取り巻く環境は、非常に厳しいかなと思います。

ただ、逆に言えば本気になって取り組んでいただければ、また活路も見えるのかなというふうに私は期待はしております。これまでもそう思って、いろいろ予算づけに賛成してきたこともあります。ぜひ当事者の皆さんには頑張っていただきたいなと思いますし、織田前副市長も、最初、違和感があるなと思ったんですが、今、第三セクターを取り巻く環境をとるといろんな責任を負って頑張ってくれるのかなというふうに、ある意味期待もしております。

最後に、5番の駅北まちづくりのところで、これは私の願望というか望みになるんですが、高齢者の方に子供たちの面倒を見ていただくような、何かそういう流れができないかということで、今のほうでは、ちょっとレベルは違うんですが、リカレント教育ということで、一旦退職された方とか、再度学びをして、また仕事に出る。国は100歳時代というんですかね、100年間生きるということでいろんな複雑な社会を生きていくために、また学び直すということがございます。糸魚川の駅北においては、子供たちのために高齢者の方たち、また引退した方たちが少し初歩的なリカレント教育をして、勉強を教えるというよりも、ドリルの時間をはかってあげるとか、サポートしてあげるとか、わからないところがあったら一緒に尋ねてあげるとか、そういう何ていうのかな、学び方みたいなものを教えてあげられるような空間ができると、非常に子供たちにとっていいと思いますし、糸魚川市にとってもいいと思うので、そういった考えを持って取り組んでいただければなと思うんですが、その辺の考えいかなもんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

齊藤復興推進課長。〔復興推進課長 齊藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（齊藤喜代志君）

ご意見ありがとうございました。今後、その拠点を含めたいろんなまちづくりの構想等の中で、やはり教育委員会ともしっかり連携をとりながら、どうしたら子供たちに喜んでもらえるような環境づくりができるのか、それぞれの世代が喜んでもらえるのかあたりを考えながら、また検討してまいりたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

4番の糸魚川市のSDGsの取り組みであります。もう時間がないのではしよりますけども、平成27年2月27日の私の一般質問で、戦略的農地集約と観光公社の創設、戦略的山林集約と観光公社の創設、糸魚川ジオツーリズムビューローの設置などの質問をしております。こういったことをSDGsと兼ねて取り組んでいただければと思います。要望にしときます。

以上です。

○議長（五十嵐健一郎君）

以上で、保坂議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を2時20分といたします。

〈午後2時13分 休憩〉

〈午後2時20分 開議〉

○議長（五十嵐健一郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、新保峰孝議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

新保議員。〔8番 新保峰孝君登壇〕

○8番（新保峰孝君）

日本共産党の新保峰孝です。

私は、人口問題と産業振興について、国民健康保険税について、駅北大火の復旧・復興について、米田市長のお考えを伺いたいと思います。

1、人口問題と産業振興について。

(1) 糸魚川市の人口減少をどのように捉え、どのような対策に力を入れているか。

① 子育て支援策等の充実等、直接的・間接的少子化対策についてはどうか。